
地方創生バイオマスサミット
代表地域モデル事例発表：「熊本県南関町」
～竹資源の活用による付加価値創造～

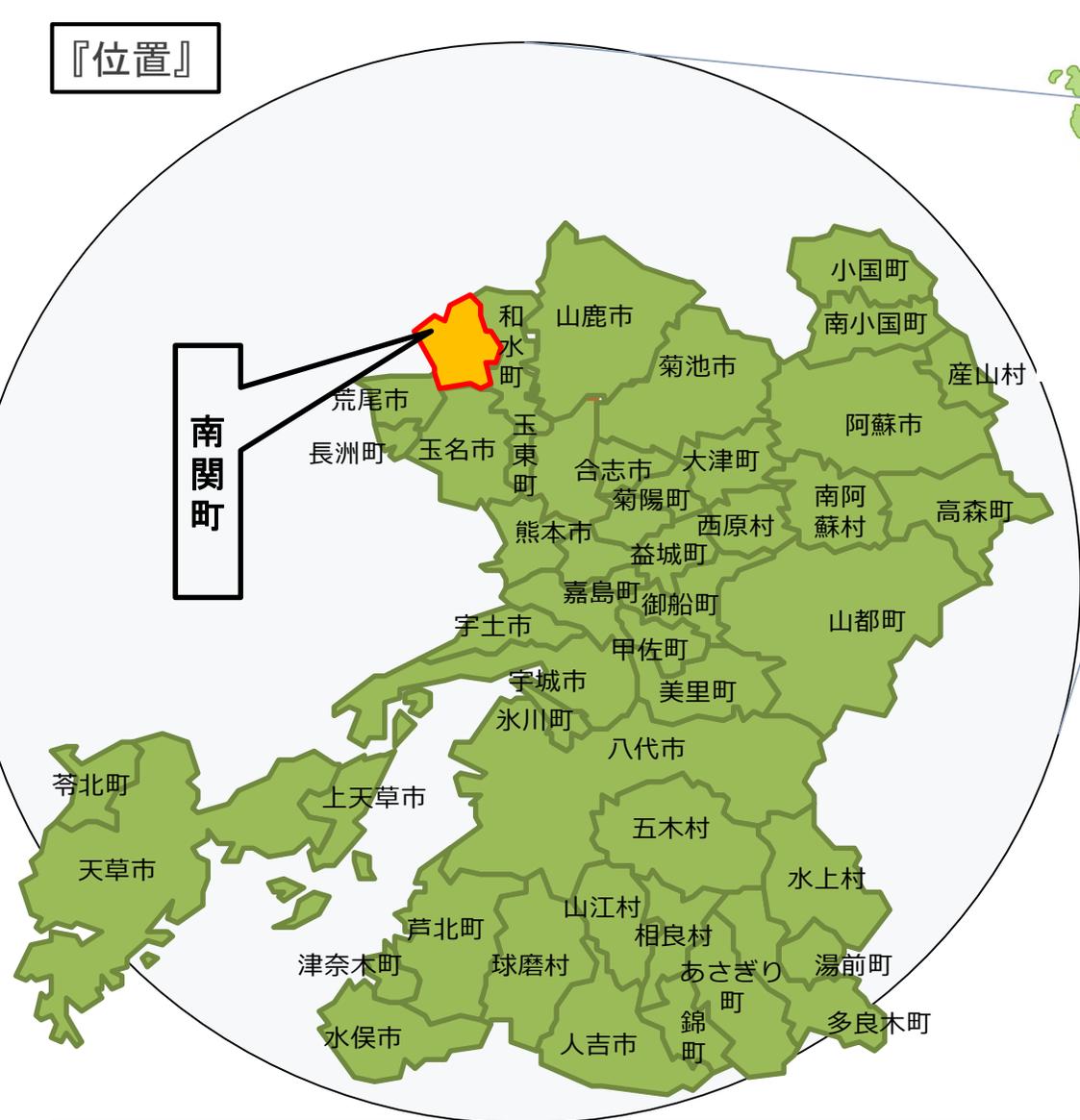
2018年7月5日

熊本県南関町

【 1 南関町の概要】

『位置』

南関町



『概要』

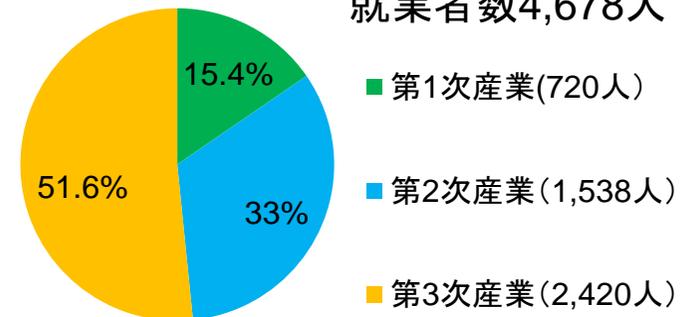
昭和30年4月1日、南関町、賢木村、大原村、坂下村、米富村の5ヵ町村が合併し、「南関町」が発足。平成27年に合併60周年を迎えた。

- 人口 9,934人(平成30年3月末)
- 世帯 4,167世帯(平成30年3月末)
- 面積 68.92km²
(うち山林原野 約48.8%)
平成29年度固定資産概要調書より

『産業』

総生産額 44,004百万円

就業者数4,678人



【 2 町の竹林の現状と課題】

『竹の種類と特徴』

(南関町に生育する竹の種類)

- : 孟宗竹
- : 真竹
- : 女竹
- : 淡竹

(孟宗竹の特徴)

- ①1年間に10m～20m程度成長する。
- ②数年で成長が完了し、木に比べ成長速度が早い。
- ③地下茎の随所から新しい筍が発生する。
- ④非常に繁殖力が強く、筍を安定して産出するには定期的な伐採が必要。
- ⑤中が空洞であり、歩留まり率が低い。
- ⑥西日本にその多くが分布

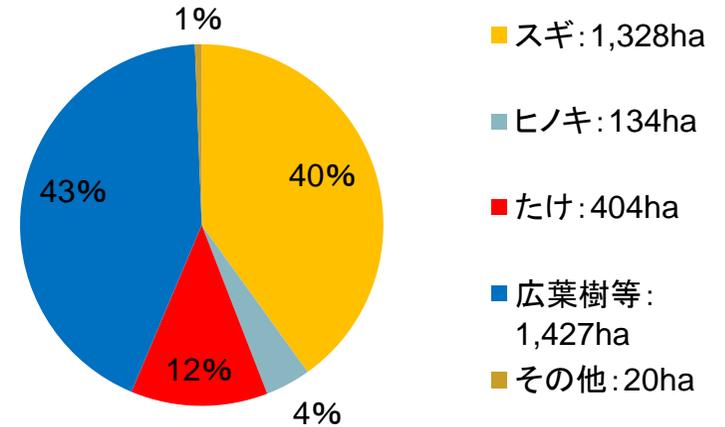
『竹林面積』

(竹林面積の多い都道府県)

順位	都道府県	面積 (ha)
1	鹿児島	16,000
2	大分	13,000
3	山口	12,000
4	福岡	12,000
5	熊本	11,000
6	島根	10,000
7	千葉	6,000
8	京都	6,000
9	岡山	5,000
10	宮崎	5,000

『南関町及び近隣市町の竹林』

(南関町山林面積: 3,313ha)



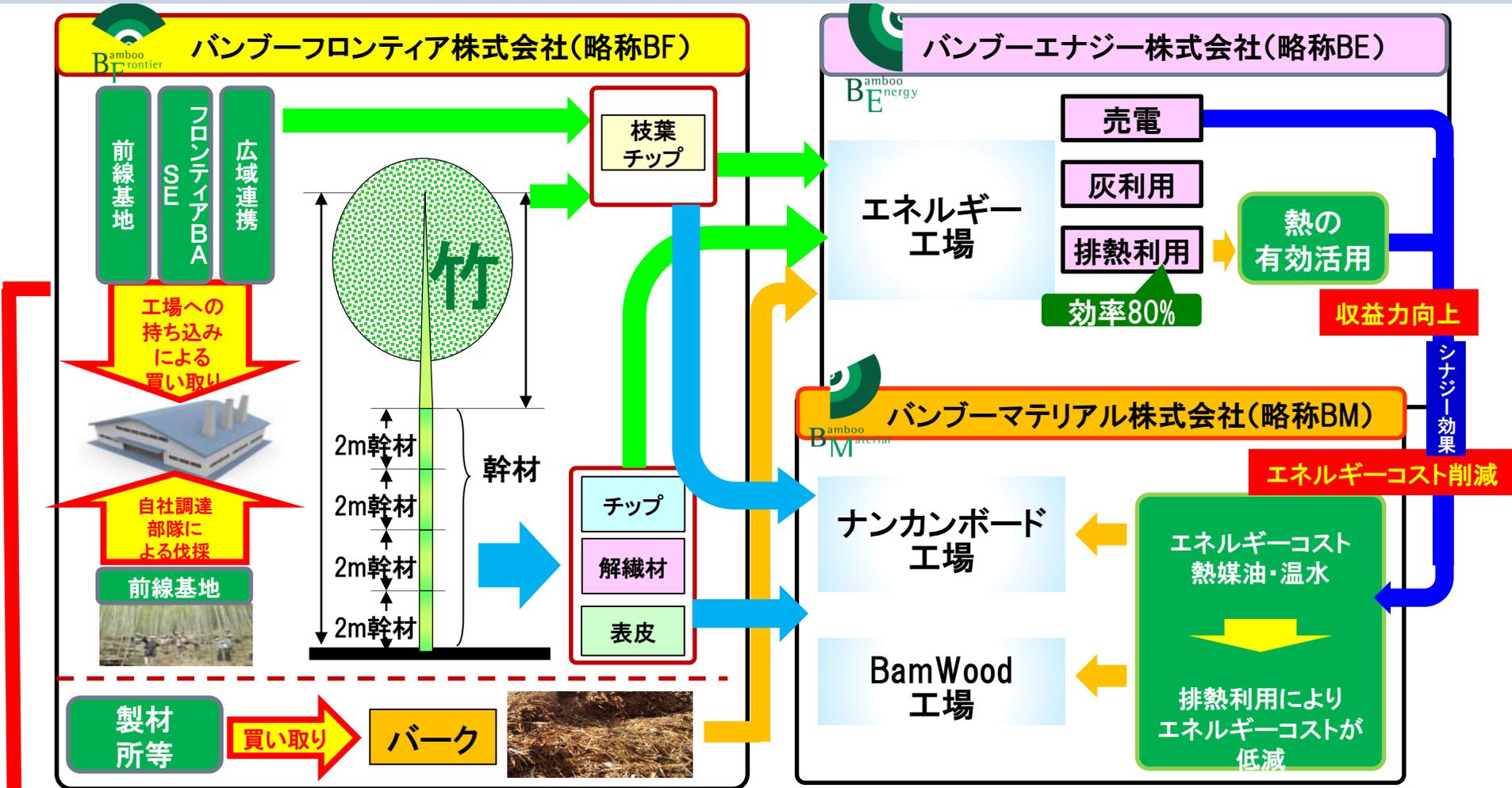
(近隣市町竹林面積)

- ・和水町 483ha
- ・玉名市 140ha
- ・山鹿市 939ha
- ・菊池市 334ha

『南関町の竹林に関する課題』

- 繁殖力が強いことから里山が荒廃し、大雨による土砂災害防止力の低下が懸念されている。
- 荒廃した里山が広がることで、鳥獣害による被害拡大の原因の一つとなっている。
- 計画的に竹を搬出することのできる作業道等が整備されていない。

【 3-1 バンブーフロンティア構想との共同による地域課題解決に向けて】



- (町と共同して)
- 地域経済循環創造事業交付金の活用
 - 竹林所有者との三者協定
 - ふるさと名物応援宣言
 - 竹材収集における補助金の創設及び周辺市町との連携

【3-2 バンブーフロンティア構想との共同による地域課題解決に向けて】

『地域循環創造事業交付金』の活用

(1) 事業期間

平成27年7月～平成28年3月

(2) 事業内容

- ・竹林調査等事業可能性調査
- ・運搬車両、備品等購入
- ・竹材加工集積場の整備工事

(3) 交付金事業初期投資総額

初期投資額合計	124,643千円
自己資金額	10,643千円
金融機関融資額	64,000千円
交付金額	50,000千円

『ふるさと名物応援宣言』

(1) 宣言日

平成28年2月26日

(2) 内容

地域を挙げて支援を行うふるさと名物として「竹の持つ特性を生かした商品群」を特定し、積極的に情報発信を行う。

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



わが市町村の
ふるさと名物は
これ!

ふるさと名物
Furusato Meibutsu

熊本県南関町
が応援するふるさと名物

◎竹の持つ特性を活かした商品群

南関町役場（まちづくり課）
熊本県玉名郡南関町関町1316
0968-57-8501



【 3-3 バンブーフロンティア構想との共同による地域課題解決に向けて】

『南関町内竹林所有者との三者協定』

(1)町内モデル地区の選定(2地区)事前説明

(2)小学校区(4地区)ごとに説明会

(3)バンブーフロンティア・竹林所有者の協定
【179件・250ha(H29.10月現在)】(町は立会人)

(7)荒廃竹林対策・農業所得の向上・災害の防止・雇用の創出及び竹材の安定収集

(8)安心して豊かに住み続けられる持続可能なまちづくりの実現を図る

『竹材収集における町補助金の創設及び周辺市町との連携』

(4)地方創生推進交付金制度を活用し、南関町竹材利用拡大推進事業補助金の創設。
竹林の整備、放置竹林の解消と筍など特用林産物の生産増を促すことで第一次産業従事者の収入増を目的とする。
■事業の開始日 平成29年6月1日
■事業内容 ・竹林整備のための竹材買取支援
・山林の整備に係る林道維持等

(5)竹林整備連絡連絡会議(南関町・森林整備事業者・周辺市町等)の設置

(6)周辺市町との広域連携(前線基地の設置や持込)による竹材の調達

【 4 その他：今後の町の発展に向けて】

■ 南関版コンパクトシティ構想

- § 本構想は、人口減少による財政力の低下、少子高齢化等による地域力の低下などの問題に対応するため、コンパクトなまちづくりを行うことで経費を抑え、最大限の効果を生み出す創意工夫を行う。
- § 閉校となった校舎の改修及び増築を行い、新庁舎を建設。併せて、公共施設を敷地内に集約することにより、町民の利便性の向上を図る。
- § 安全・安心な防災拠点となる庁舎、まちづくりの拠点・まちのシンボルとなる庁舎、人と環境にやさしく利用しやすく親しみのある庁舎を方針とする

庁舎の建設時の竹材利用



(新庁舎外観イメージ図)



(新庁舎内観イメージ図)